

問1 緯線と経線が直角に交わる地図（メルカトル図法）において、高緯度地方の面積や距離が実際よりも大きく引き伸ばされて描かれる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2021年 奈良県公立入試 類似）

1. 角度を正しく示すために、経線が極点に集まらず平行であることを前提とし、高緯度ほど経線の間隔が広がる割合に合わせて緯線の間隔も拡大したため。
2. 任意の2地点間を直線で結んだとき、その直線が常に最短距離（大圏航路）を示すように、緯度に応じて縮尺を意図的に変化させたため。
3. 地球儀上の面積を正確に平面に投影しようとした結果、赤道付近を圧縮する代わりに、北極や南極に近い高緯度地方を横方向に引き伸ばしたため。
4. 高緯度地方に位置する当時の主要な航海ルートや探検経路を詳細に書き込めるよう、地図の中央部よりも周辺部の面積を優先して拡大させたため。

問2 世界の海洋の分布と特徴について述べた次の文のうち、大西洋の説明として最も適切なものを選びなさい。（2023年 奈良県公立入試 類似）

1. アフリカ大陸とヨーロッパ大陸の間に位置する、陸地に囲まれた内海である。
2. アフリカ大陸の東側に位置し、アジアとの交易において重要な役割を果たしている海洋である。
3. アフリカ大陸の西側に位置し、アフリカ・ヨーロッパ・南北アメリカの各大陸に囲まれている海洋である。
4. 日本列島の東側に広がり、世界で最も大きな面積を持つ海洋である。

問3 1870年時点における世界の工業生産シェアにおいて、イギリスが3割以上を占めるなど欧米諸国で工業化が進んでいた背景を踏まえ、明治政府がお雇い外国人を招いて行った政策の目的として最も適切なものはどれですか。（2017年 奈良県公立入試 類似）

1. 欧米の先進的な技術や制度を導入することで、産業の育成や軍備の強化を図り、日本の近代化を推し進めるため。
2. 外国の資本を直接受け入れ、国内の主要な鉱山や工場の経営をすべて外国人に委ねることで経済を安定させるため。
3. 不平等条約の改正を有利に進めるために、欧米諸国のキリスト教を日本国内に普及させる活動を支援させるため。
4. 江戸時代の封建的な身分制度を維持しながら、特定の軍事技術だけを効率的に習得させるため。

問4 江戸時代前期の元禄文化が、それまでの時代の文化と比べて、どのような社会背景をもとに発展したか、その特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2020年 奈良県公立入試 類似）

1. 幕府の政治が安定し、農業や商業の発展によって上方（京都・大阪）の町人が経済力をつけたこと
2. 応仁の乱のあとの混乱の中で、禅宗の影響を受けた簡素で深い味わいをもつ文化が武士に好まれたこと
3. 遣唐使の廃止によって、日本の風土や日本人の感情に合った国風文化が貴族の間で発達したこと
4. 参勤交代によって江戸に全国の富が集中し、江戸の庶民の間で皮肉や滑稽を好む文化が広まったこと

問5 1990年と2018年における世界の二酸化炭素排出量を比較した際、日本とアメリカに共通して見られる統計上の特徴として正しいものはどれですか。（2023年 奈良県公立入試 類似）

1. 1990年と比較して二酸化炭素の排出総量は減少しており、世界全体に占める排出割合も減少している。
2. 1990年と比較して二酸化炭素の排出総量は増加しているが、世界全体に占める排出割合は減少している。
3. 1990年と比較して二酸化炭素の一人当たりの排出量は減少しているが、排出総量は変わっていない。
4. 1990年と比較して二酸化炭素の排出総量は増加しており、世界全体に占める排出割合も増加している。

問6 日本の空港における旅客数の構成について、東京国際空港（羽田空港）の統計的な特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。国内線と国際線の利用状況の違いに着目して選びなさい。（2020年 奈良県公立入試 類似）

1. 地方空港とのネットワークを縮小しているため、旅客構成においては国内線よりも国際線の利用者が多くなっている。
2. 国際線の利用者が増加傾向にあるものの、旅客全体に占める割合は国内線の利用者が圧倒的に多い。
3. 成田国際空港と比較して国際線の発着枠が多いため、旅客全体では国際線の利用者が国内線の利用者を上回っている。
4. 都心に近い利便性から、国内線と国際線の利用者がほぼ同数となるよう計画的に運用されている。

問7 地方公共団体が、その地域における事務を処理するために、法律の範囲内で独自に定める法規範を何といいますか。（2020年 奈良県公立入試 類似）

1. 政令
2. 法律
3. 省令
4. 条例

問8 明治政府が群馬県に造った官営模範工場の設立趣旨を説明した資料には、「近代的な製糸技術の普及と人材の育成」という目的が記されています。この工場の設立背景や、果たした役割について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2024年 奈良県公立入試 類似）

1. 日清戦争の賠償金を活用してドイツの技術を導入し、日本の重工業化を支えるための鉄鋼生産の拠点として稼働した。
2. 殖産興業の一環として、機械の動力源となる石炭を安定供給するために、最新の採掘設備を備えた大規模な鉱山を直接経営した。
3. フランスから最新の機械と技術者を招き、全国から集まった女性たちに技術を習得させ、各地の製糸業を近代化させる指導者を養成した。
4. 民間が経営していた造船所を政府が買い取り、欧米諸国に対抗できる大型の軍艦を国産化するための技術開発を行った。

問9 奈良県で、資源を有効活用した製品を認定する制度によって、どのような変化が期待されていますか。（2023年 奈良県公立入試 類似）

1. ゴミの量が増えて、工場がもっと忙しくなる
2. 資源が足りなくなり、新しい製品が作れなくなる
3. すべての製品が、奈良県の認定製品だけになる
4. 資源をむだなく使うことで、ゴミが減り、環境を守ることができる

問10 公職選挙法では、候補者が有権者の自宅を直接訪ねて投票を依頼する「戸別訪問」が禁止されています。このように、選挙運動に対して厳しい制限が設けられている主な理由として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 奈良県公立入試 類似）

1. 選挙にかかる費用を抑えることで、資金力のない候補者でも立候補しやすくするため。
2. 有権者の家を訪ねることで、住民のプライバシーや生活の平穏を乱す恐れがあるため。
3. SNSやインターネットを活用した現代的な選挙運動を促進し、投票率を向上させるため。
4. 人目につかない場所での買収や利益誘導を防ぎ、選挙の公正さを確保するため。

問11 高知県ではなすの生産が盛んですが、東京市場におけるなすの卸売価格が「夏に安く、冬から春に高い」という傾向がある中で、高知県が冬から春に出荷を集中させている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 奈良県公立入試 類似）

1. 冬から春はなすの需要が大幅に減少するため、供給量を増やすことで市場価格をさらに下げ、消費を拡大させるため
2. 黒潮の影響を受けた温暖な気候を活かし、他の産地からの出荷が少ない高価格な時期を狙って収益を上げるため
3. 高知県の冬の寒冷な気候を利用して、時間をかけてゆっくりと育てることで、なすの品質を向上させるため
4. 夏は台風の被害を受けやすいため、あえて価格の安い冬から春の時期に生産時期をずらして安定供給を図るため

答え合わせ・解説

問1	答え 1 角度を正しく示すために、経線が極点に集まらず平行であることを前提とし、高緯度ほど経線の間隔が広がる割合に合わせて緯線の間隔も拡大したため。	メルカトル図法は、航海用として「任意の地点間の角度（等角航路）」を正しく表現することを目的とした地図です。地球儀上では経線は極に近づくほど狭まりますが、この地図では経線を平行な直線として描いています。そのため、高緯度ほど横方向に実際よりも引き伸ばされることとなりますが、地図上の角度を保つためには、横に引き伸ばしたのと同じ比率で縦（緯線の間隔）も引き伸ばす必要があります。この仕組みにより、北極や南極に近い地域ほど面積や距離が極端に大きく描かれるという特性が生まれます。
問2	答え 3 アフリカ大陸の西側に位置し、アフリカ・ヨーロッパ・南北アメリカの各大陸に囲まれている海洋である。	大西洋はアフリカ大陸の西側に位置する広大な海洋で、対岸には南北アメリカ大陸があり、北東方向にはヨーロッパ大陸が位置しています。アフリカ大陸の東側にあるのはインド洋、北側にあるのは地中海であり、世界最大の面積を持つのは太平洋です。地理的な位置関係を把握する際は、隣接する大陸との位置関係が重要な指標となります。
問3	答え 1 欧米の先進的な技術や制度を導入することで、産業の育成や軍備の強化を図り、日本の近代化を推し進めるため。	明治政府は「富国强兵」を掲げ、先行して工業化を達成していたイギリスやドイツなどの技術を吸収することで、短期間で国力を高めようとしてしました。お雇い外国人は、鉄道の敷設、通信網の整備、官営模範工場の建設、近代軍隊の編制、大学での教育など、多岐にわたる分野で日本の基盤づくりを支えました。
問4	答え 1 幕府の政治が安定し、農業や商業の発展によって上方（京都・大阪）の町人が経済力をつけたこと	元禄文化は、兵農分離や新田開発によって社会が安定し、物流の拠点である上方で経済活動が活発化したことを背景にしています。経済的な実力を持った町人が、武士の形式ばった文化ではなく、自分たちの感情や生活を肯定する華やかで躍動感のある文化を創り出しました。
問5	答え 2 1990年と比較して二酸化炭素の排出総量は増加しているが、世界全体に占める排出割合は減少している。	日本やアメリカなどの先進国では、経済活動の継続やエネルギー消費の変化により、1990年時点と比較すると二酸化炭素の排出総量自体は増加しています。しかし、同じ期間に中国やインドといった新興国が急速な工業化を遂げ、それらの国々による排出量が爆発的に増大したため、世界全体の排出量に対する日本とアメリカの占める割合は相対的に低下しました。
問6	答え 2 国際線の利用者が増加傾向にあるものの、旅客全体に占める割合は国内線の利用者が圧倒的に多い。	東京国際空港（羽田空港）は、日本国内の主要都市を結ぶ航空ネットワークの最大の拠点として機能しています。近年は国際線の発着枠も拡大されていますが、統計上、旅客全体に占める国内線の利用者の長さ（割合）は国際線よりも数倍大きく、国内移動における重要性が非常に高いことが特徴です。
問7	答え 4 条例	日本国憲法や地方自治法に基づき、地方公共団体には自らルールを定める「自主立法権」が認められています。この権利に基づき、地方議会の議決を経て制定される決まりを条例と呼びます。国の法律の範囲内という制約はありますが、地域の事情に応じた独自のルール作りが可能です。
問8	答え 3 フランスから最新の機械と技術者を招き、全国から集まった女性たちに技術を習得させ、各地の製糸業を近代化させる指導者を養成した。	明治時代初期の日本にとって、生糸は外貨を稼ぐための極めて重要な輸出商品でしたが、従来の手作業では品質にばらつきがありました。政府は国際競争力を高めるため、最新設備を備えた富岡製糸場を建設し、そこで技術を学んだ人々が全国の製糸工場で指導に当たることで、産業全体の近代化と底上げを図りました。
問9	答え 4 資源をむだなく使うことで、ごみが減り、環境を守ることができる	一度使ったものを資源として有効活用することで、新しく使う資源を減らし、捨てられるゴミを減らそうとしています。このような工夫を続けることが、環境を守ることにつながります。
問10	答え 4 人目につかない場所での買収や利益誘導を防ぎ、選挙の公正さを確保するため。	戸別訪問を認めると、密室で金銭の受け渡しが行われるなど、買収や脅迫が行われる温床となる恐れがあります。公職選挙法が選挙運動に様々な制限を設けているのは、候補者の財力や地位によって選挙結果が歪められるのを防ぎ、国民の自由な意思によって代表者が選ばれる状況を守るためです。
問11	答え 2 黒潮の影響を受けた温暖な気候を活かし、他の産地からの出荷が少ない高価格な時期を狙って収益を上げるため	高知県は黒潮（日本海流）の影響で冬でも温暖な気候に恵まれています。この気候条件を活かし、ビニールハウスなどを用いた「促成栽培」によって、本来の収穫時期よりも早い冬から春になすを出荷しています。市場では供給が減るこの時期に卸売価格が高騰するため、そのタイミングを狙って出荷することで、農業経営の安定と高収益化を実現しています。